

2014年3月期決算説明会

株式
会社 **朝日ラー**

証券コード: 5162

2014年5月26日

サマリー

- 2014年3月期は、主力の自動車向けゴム製品とスポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品の受注が増加し、二桁以上の増収増益となった。
- 2015年3月期は、価格下落と受注の一服感により売上高は横ばい、利益は新製品の先行投資などにより減益となる見通し。
- 新製品のマイクロ流体デバイスの量産スタート予定。
- 2017年3月期までの中期経営計画では、連結売上高80億円、連結営業利益8億円を目指す。

2014年3月期決算説明資料 目次

I. 2014年3月期決算実績

1. 連結決算実績（前期比較）	3
2. 四半期会計期間の連結売上高・営業利益	4
3. 連結セグメント別実績（前期比較）	5
4. 連結セグメント別実績－中期事業分野（前期比較）	6
5. 主要製品実績－ASA COLOR LED、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品	7～9
6. 単体損益実績（前期比較）	10
7. 連結子会社の損益実績（前期比較）	11
8. 連結貸借対照表の状況	12
9. 連結キャッシュフロー実績	13

II. 2015年3月期決算見通し

1. 連結損益見通し（前期比較、セグメント別）	14
2. 連結設備投資計画（前期比較）	15
3. 配当実績と計画	16

III. 第11次三カ年中期経営計画（V－1計画）について

1. AR－2020VISION	17
2. 第11次三カ年中期経営計画（V－1）計画の概要	18
3. V－1計画事業戦略（自動車、医療、ライフサイエンス、その他分野）	19～22
4. V－1計画事業戦略と設備投資計画	23
5. 海外展開	24
6. 株主還元とコーポレート・ガバナンスの方針	25

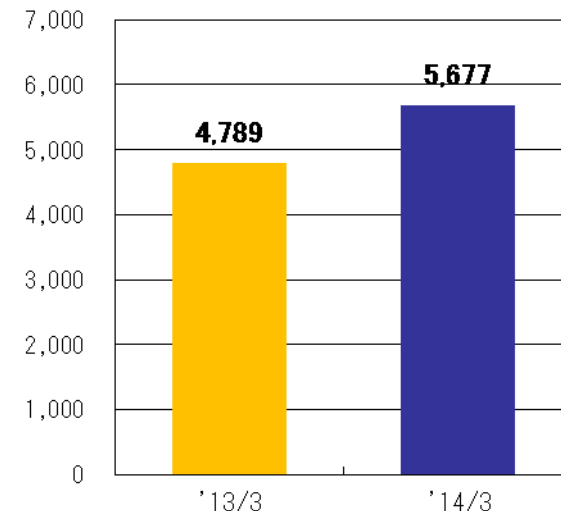
I - 1. 連結決算実績

(単位:百万円、%)

	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	4,789	100.0	5,677	100.0	18.5
売上総利益	1,275	26.6	1,510	26.6	18.5
営業利益	135	2.8	286	5.0	111.2
経常利益	139	2.9	296	5.2	112.3
当期純利益	76	1.6	160	2.8	109.7

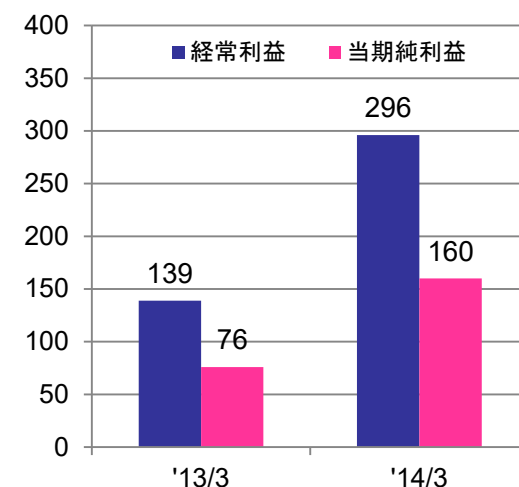
(単位:百万円)

連結売上高実績



(単位:百万円)

連結利益実績

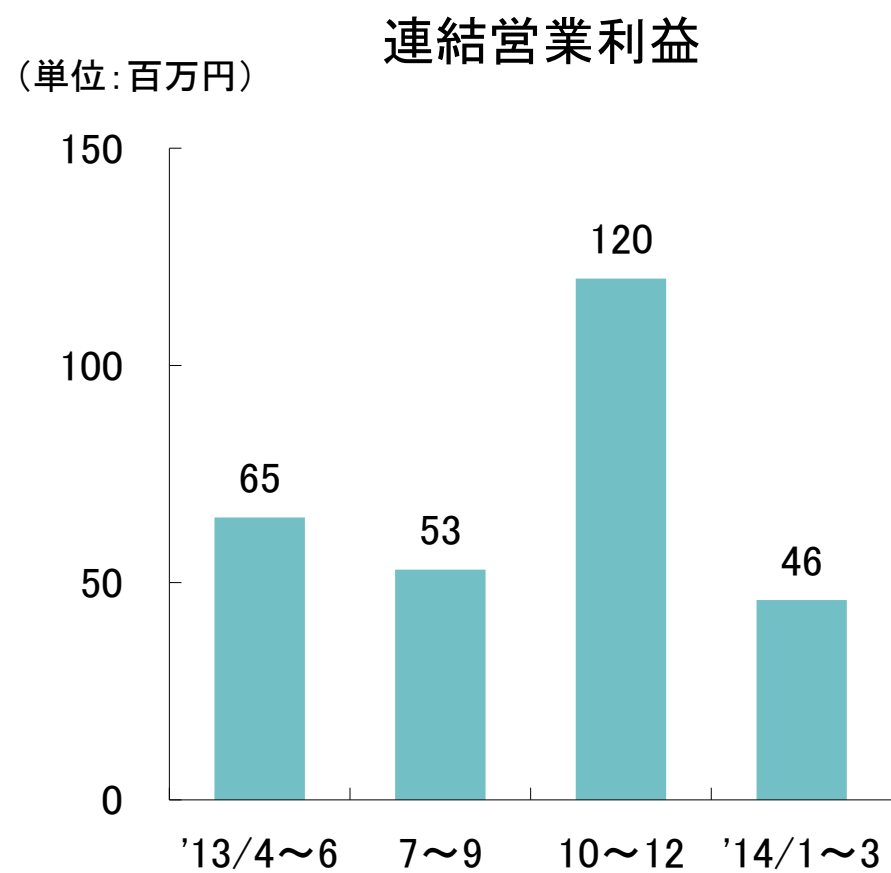
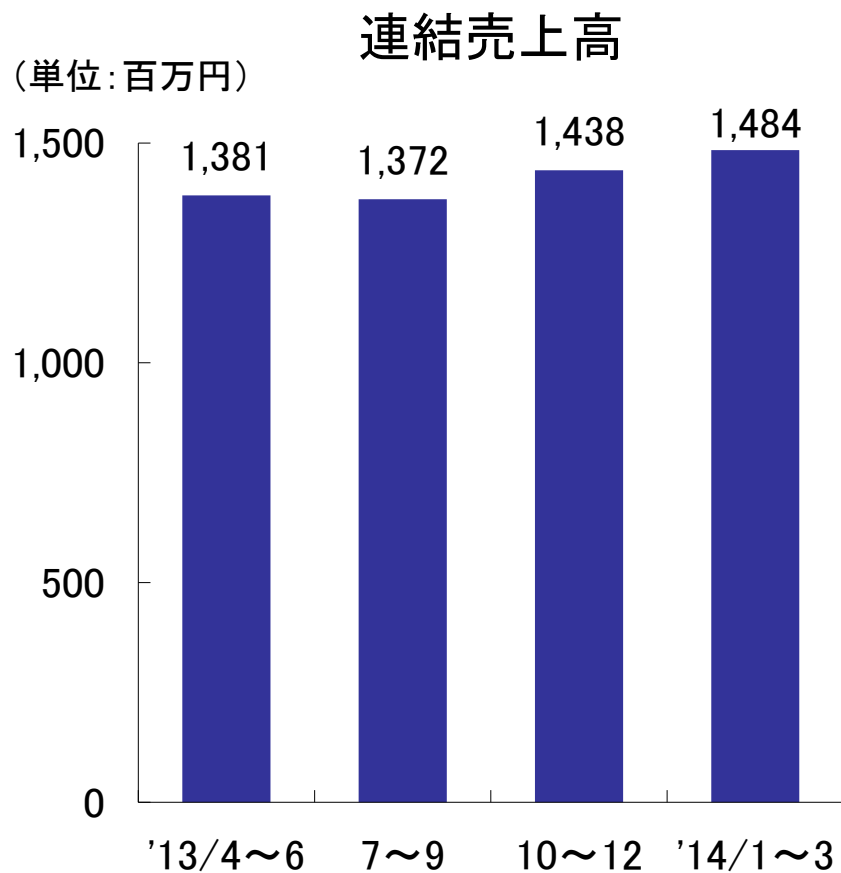


●自動車向けゴム製品、RFIDタグ用ゴム製品、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品の受注が増加し二桁以上の増収増益となった。

設備投資額 575百万円

減価償却費 383百万円

I - 2. 四半期会計期間の連結売上高・営業利益



- 第4四半期にASA COLOR LEDとRFIDタグ用ゴム製品の量産ライン増設と、マイクロ流体デバイス向け量産設備導入で費用増。

I - 3. 連結セグメント別実績

(単位:百万円、%)

売上高	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	3,794	79.2	4,514	79.5	19.0
医療・衛生用ゴム事業	995	20.8	1,162	20.5	16.8
売上高合計	4,789	100.0	5,677	100.0	18.5

(単位:百万円、%)

セグメント利益	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	295	77.8	444	84.3	50.4
医療・衛生用ゴム事業	84	22.2	82	15.7	▲2.0
セグメント利益合計	379	100.0	526	100.0	38.8

- 医療用ゴム製品は売上高が増加したが設備の先行投資による費用負担により、セグメント利益が減少。

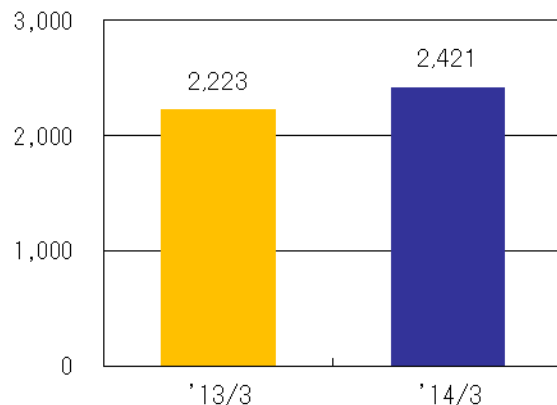
I-4. 連結セグメント別実績－中期事業分野

(単位:百万円、%)

売上高	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
照明関連事業	2,223	46.4	2,421	42.6	8.9
医療関連事業	960	20.1	1,123	19.8	17.0
機能製品関連事業	1,605	33.5	2,132	37.6	32.8
売上高合計	4,789	100.0	5,677	100.0	18.5

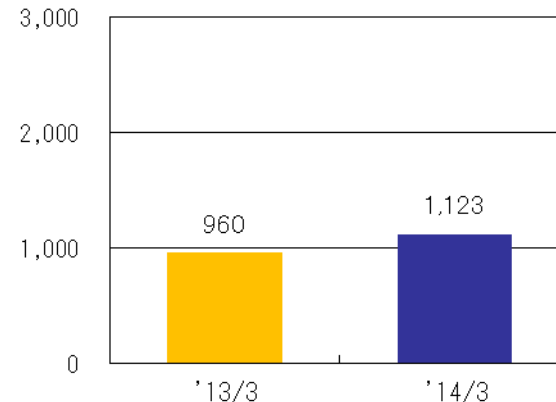
(単位:百万円)

照明関連事業



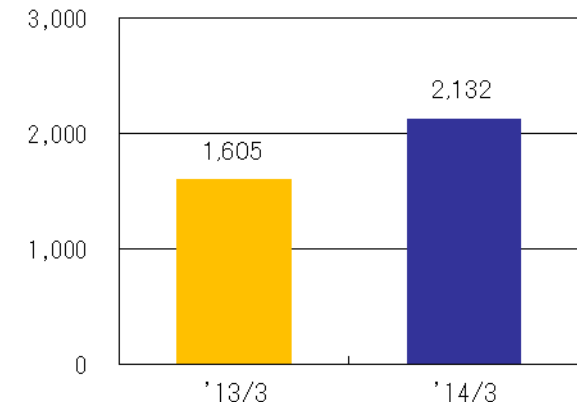
(単位:百万円)

医療関連事業



(単位:百万円)

機能製品関連事業

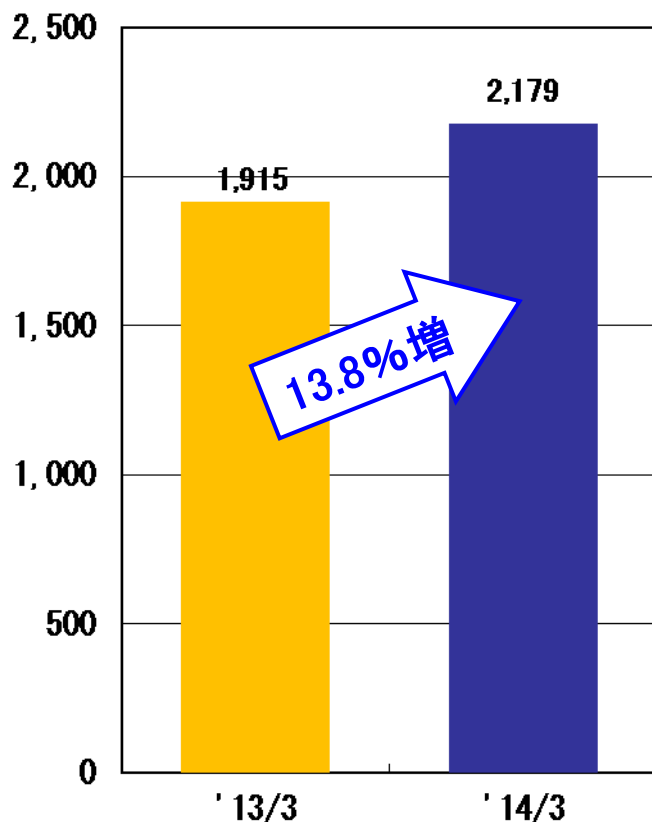


●機能製品関連事業のRFIDタグ用ゴム製品の受注が大幅に増加。

('13/3連結売上高119百万円→'14/3連結売上高331百万円)

I-5. 主要製品実績—ASA COLOR LED

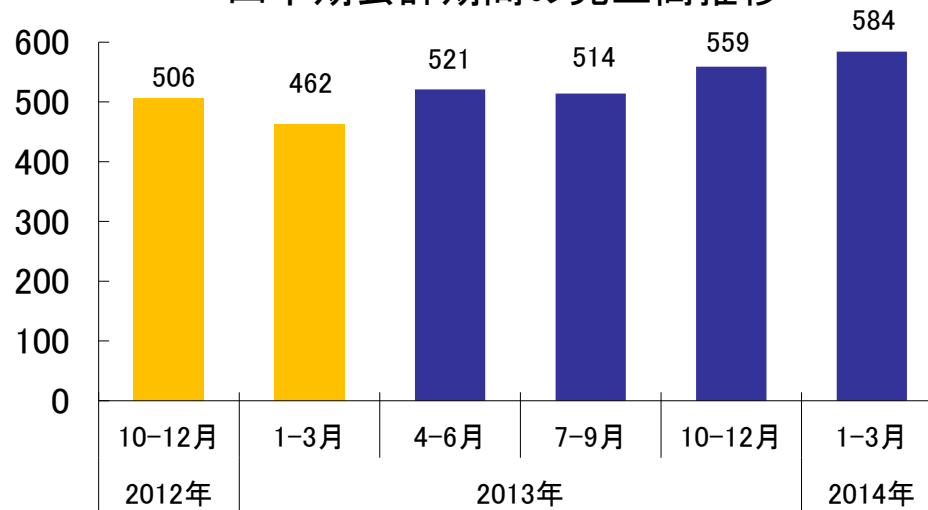
(単位:百万円) 連結売上高推移



ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移

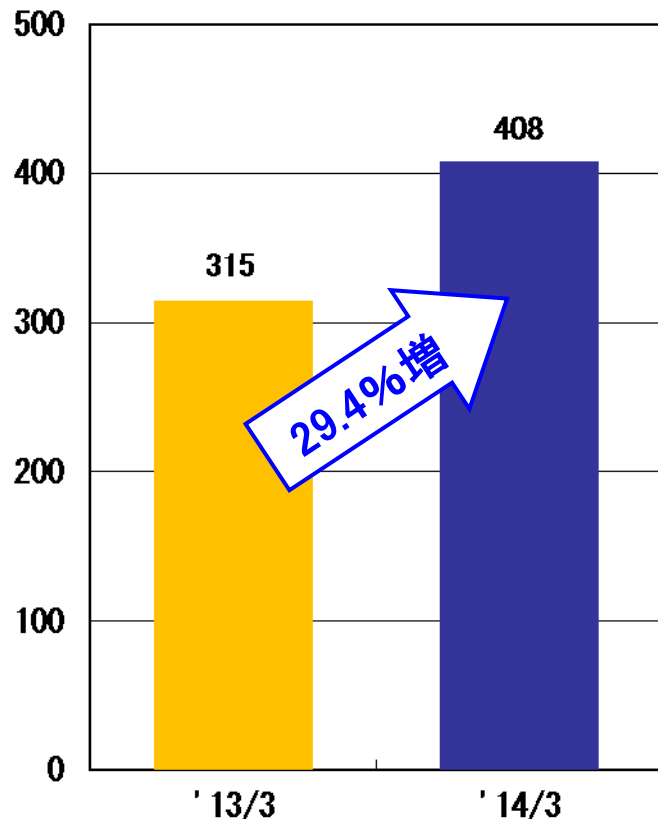


●円安による国内自動車メーカーの販売・生産増により、自動車内装照明向けの受注が好調に推移。

I-5. 主要製品実績－スポーツ用ゴム製品

(単位:百万円)

連結売上高推移



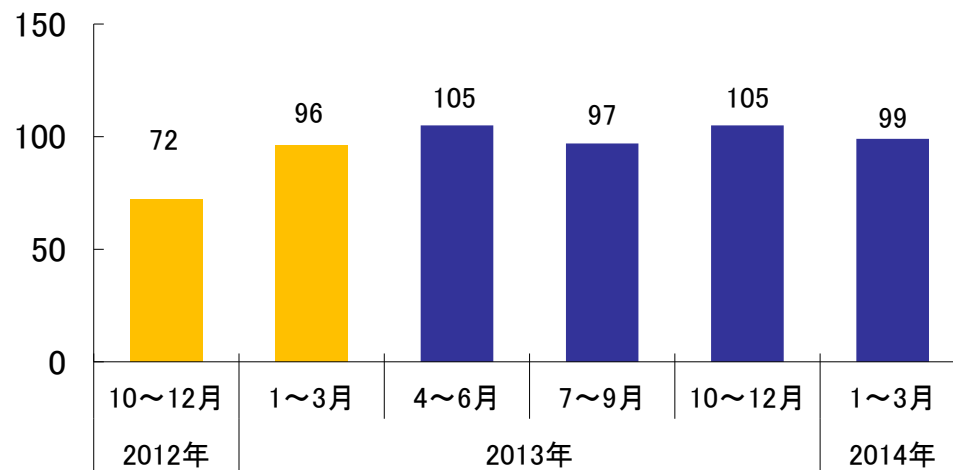
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

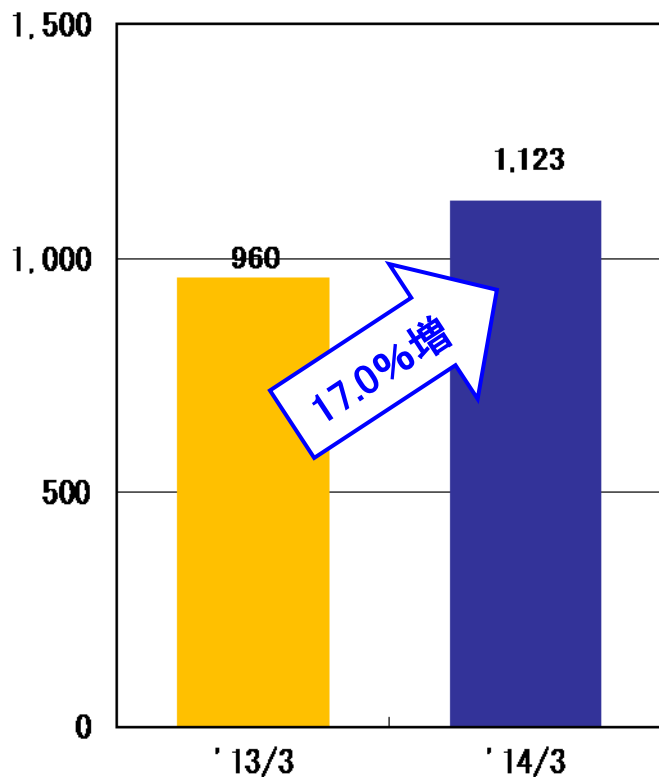
四半期会計期間の売上高推移



●一昨年末まで続いた顧客の大幅な在庫調整が終了し、受注が回復して堅調に推移。

I-5. 主要製品実績－医療用ゴム製品

(単位:百万円) 連結売上高推移

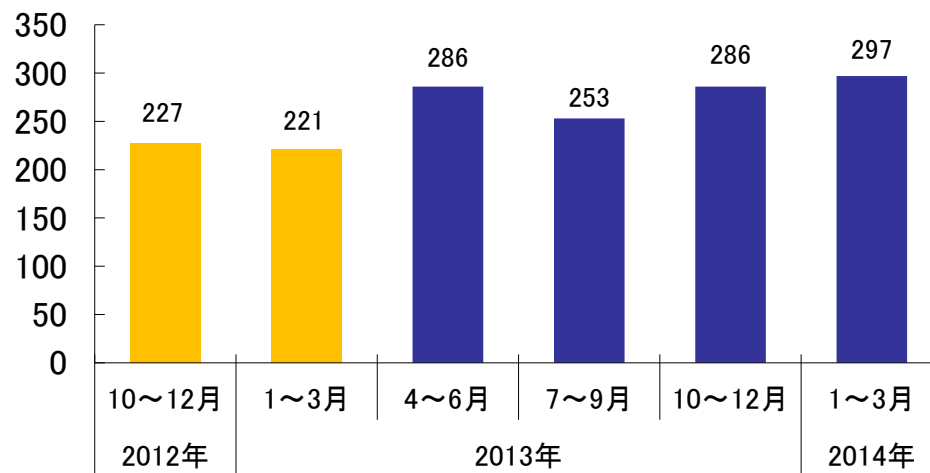


ディスポーザブル用ゴム製品

点滴輸液バッグ用ゴム栓や真空採血管用ゴム栓、プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケットなど、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



- 前期の顧客の在庫調整が終了し、受注が回復。プレフィルドシリンジ用ガスケットや採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が好調。

I - 6. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2013年3月期		2014年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	4,634	100.0	5,423	100.0	17.0
売上総利益	1,123	24.3	1,309	24.1	16.5
営業利益	91	2.0	215	4.0	135.3
経常利益	115	2.5	254	4.7	119.9
当期純利益	53	1.2	139	2.6	160.0

- 自動車向けゴム製品、RFIDタグ用ゴム製品、スポーツ用ゴム製品、医療用ゴム製品の受注が増加し二桁以上の増収増益となった。

I - 7. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチックに関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	92,971	前期増減率	154,258	前期増減率
		▲7.8%		2.7%
経常利益	4,666	▲21.4%	5,624	952.0%
当期純利益	2,103	▲33.1%	4,299	897.5%

円換算レート：1米ドル97.99円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発・設計・販売	
売上高	351,664	前期増減率	404,995	前期増減率	4,580	前期増減率
		46.4%		41.2%		304.4%
経常利益	17,194	2.8%	35,781	118.5%	▲21,266	-
当期純利益	16,993	1.6%	20,698	5.8%	▲21,266	-

円換算レート：1香港ドル12.63円

円換算レート：1人民元15.96円

円換算レート：1人民元15.96円

I - 8. 連結貸借対照表の状況

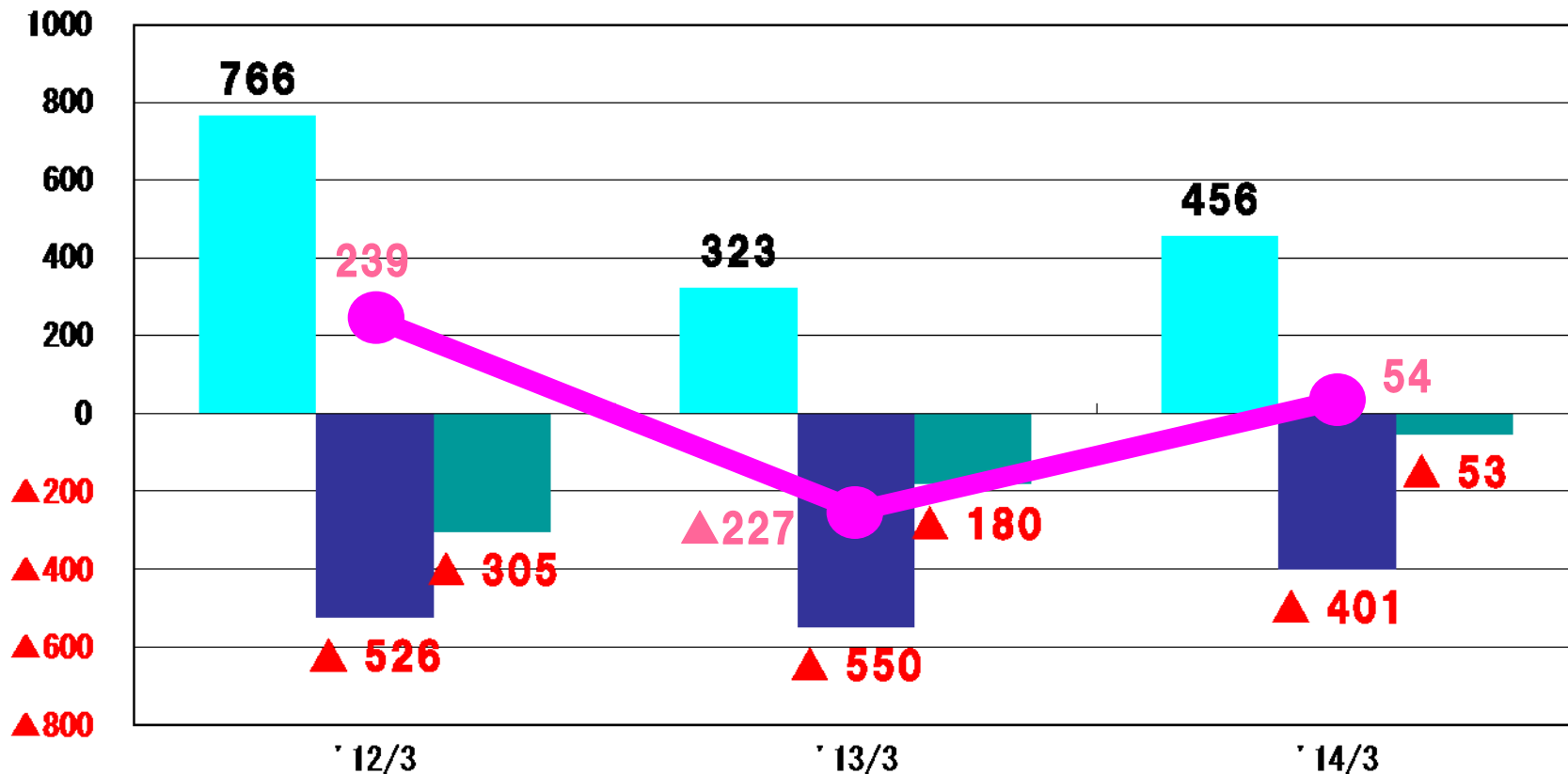
(単位:百万円)

	2013年 3月末残高	2014年 3月末残高	差	主な変動理由
流動資産	3,582	4,276	693	受取手形及び売掛金が増加
固定資産	3,928	4,180	252	機械装置及び運搬具が増加
繰延資産	6	-	▲6	
資産合計	7,517	8,456	939	
流動負債	2,180	2,761	581	支払手形及び買掛金が増加
固定負債	2,371	2,485	114	長期借入金が増加
負債合計	4,551	5,247	695	
純資産合計	2,965	3,209	243	
負債純資産合計	7,517	8,456	939	

I-9. 連結キャッシュフロー実績

(単位:百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

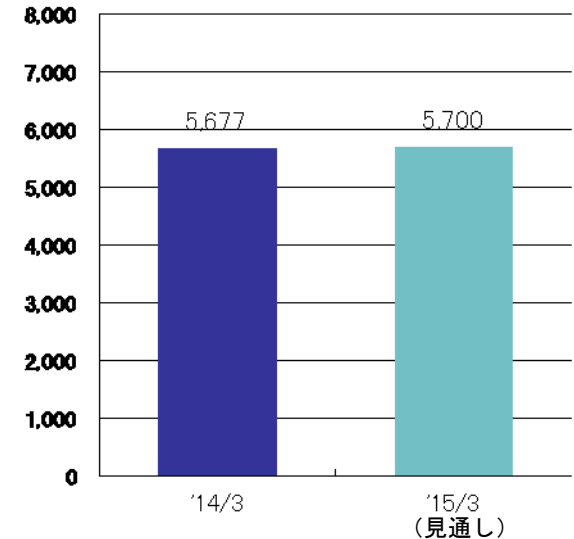
II-1. 2015年3月期連結決算見通し(前期比)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期		2015年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	5,677	100.0	5,700	100.0	0.4
売上総利益	1,510	26.6	1,429	25.1	▲5.4
営業利益	286	5.0	260	4.6	▲9.1
経常利益	296	5.2	220	3.9	▲25.7
当期純利益	160	2.8	150	2.6	▲6.8

(単位:百万円)

連結売上高見通し



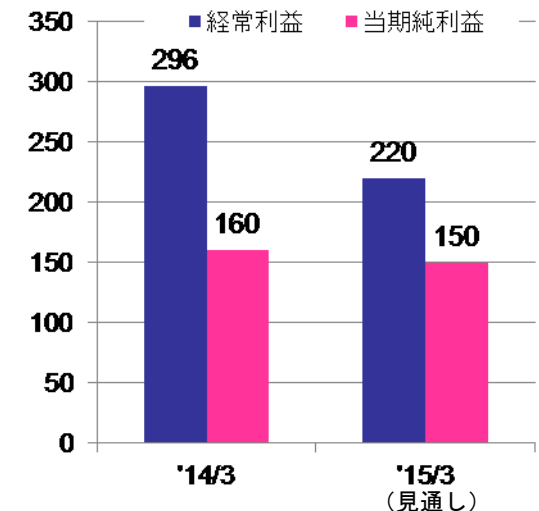
●売上高がほぼ横ばいの一方、前期の設備投資と今期の設備投資により減価償却費負担が80百万円増加するため減益となる見通し。

(単位:百万円、%)

セグメント別	2014年3月期		2015年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	4,514	79.5	4,544	79.7	0.6
医療・衛生用ゴム事業	1,162	20.5	1,156	20.3	▲0.6
売上高	5,677	100.0	5,700	100.0	0.4

(単位:百万円)

連結利益見通し



Ⅱ－2. 2015年3月期連結設備投資計画

設備投資額 約560百万円

減価償却費 460百万円

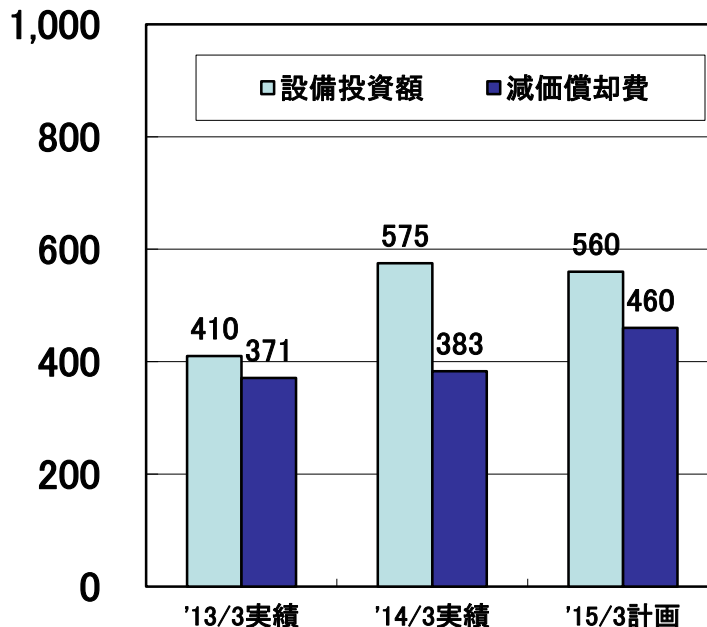
- 前期の設備投資と今期の設備投資により減価償却費負担が80百万円増加



今期の減益要因となる

事業分野別設備投資内訳	
自動車分野	230百万円
医療分野	80百万円
ライフサイエンス分野	250百万円

(単位:百万円)



法人・分野別設備投資内訳

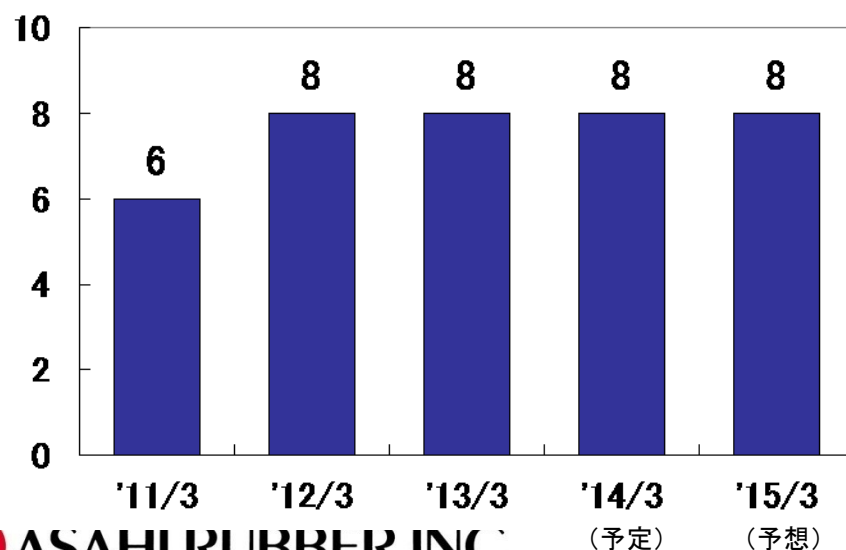
朝日ラバー	500百万円	自動車・医療・ライフサイエンス
東莞朝日精密橡膠制品	60百万円	自動車

Ⅱ－3. 2014年3月期配当実績と計画

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
中間配当	3円	3円	3円(予想)
期末配当	5円	5円(予定)	5円(予想)
年間	8円	8円(予定)	8円(予想)

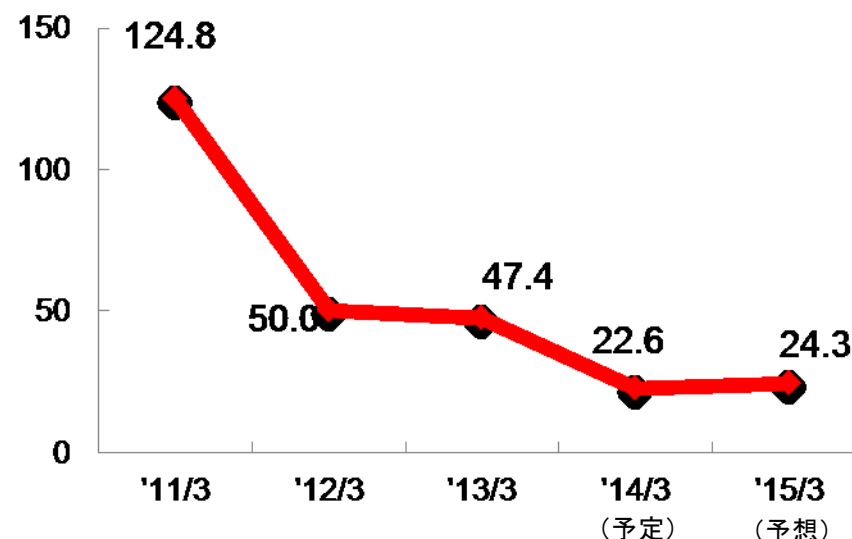
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移

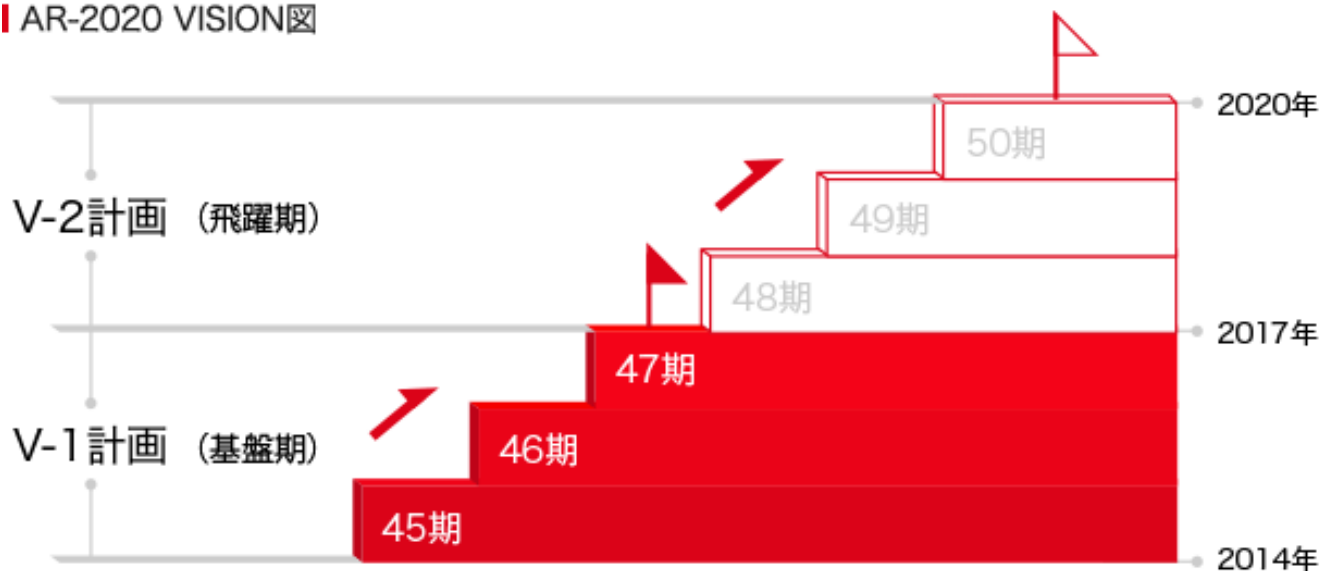


Ⅲ－1. AR－2020VISION

2020年を見据えたビジョン「AR－2020VISION」

1. 技術革新を基盤に、
新しい価値を創造し続ける企業になる。
2. 現在の仕事に慢心せず、常に変革を求め、
経営環境の変化に応じ継続的に磨きをかける。
3. 人財こそが、事業運営の要とし、人材の育成を行う。

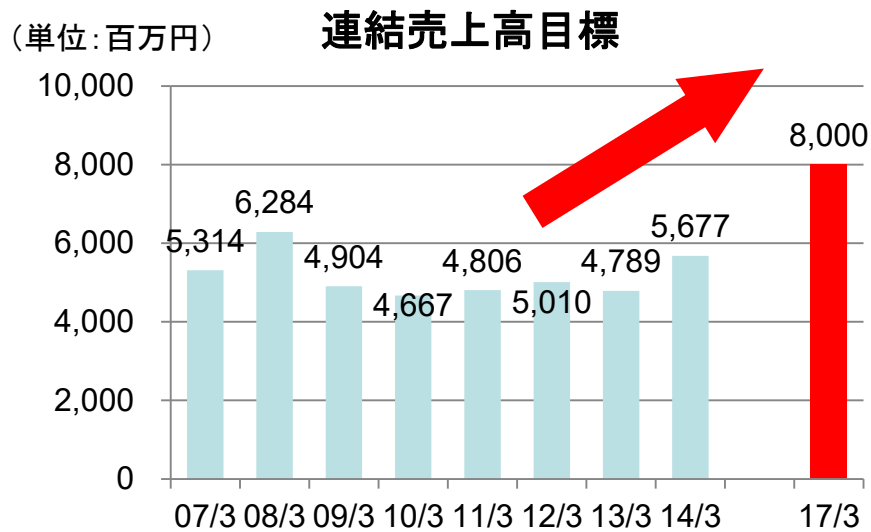
AR-2020 VISION図



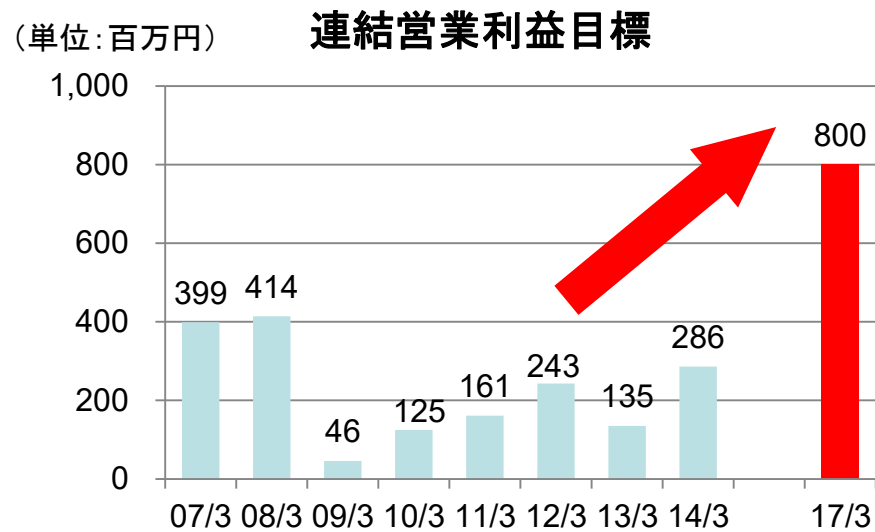
Ⅲ－2. 第11次三カ年中期経営計画（V－1計画）

- 中期経営方針
1. 既存事業の質・量の持続的成長
 2. 新市場・新分野への事業展開
 3. 2020年に向けた事業基盤の強化と整備

2017年3月期連結売上高目標 80億円
連結営業利益目標 8億円



2014年3月期比1.4倍の成長



2014年3月期比2.8倍の成長

Ⅲ－3. V－1計画事業戦略－自動車分野

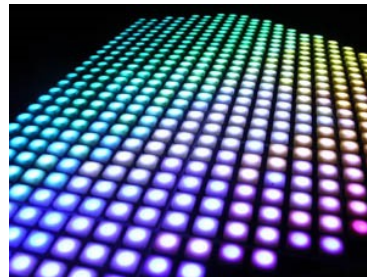
連結売上高目標 37億円(2014年3月期 28億円)

設備投資計画 10億円(2015年3月期～2017年3月期累計)

主な製品

ASA COLOR LED

- 青色LEDに蛍光体を配合したシリコン製キャップを被せることで、自動車内装照明用に10,000色以上の均質な光を提供。
- 数量は増加するが価格下落傾向のため売上げ規模は現状維持。
- 新タイプによる材料費削減で利益率を改善させる。

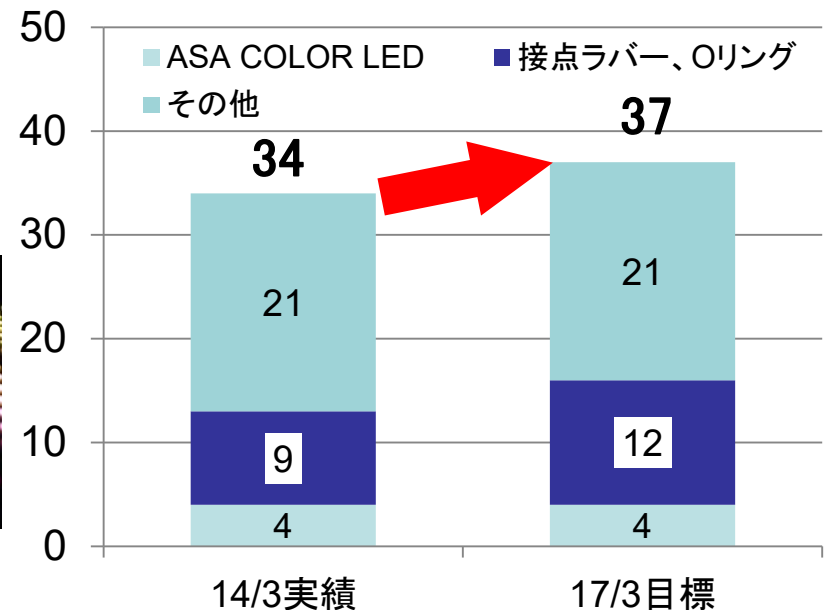


ASA COLOR LED

接点ラバー、Oリング

- スイッチ用ラバー、スイッチ用防水カバーの受注拡大で売上増加。

(単位:億円) 自動車分野連結売上高目標



Ⅲ－3. V－1計画事業戦略－医療分野

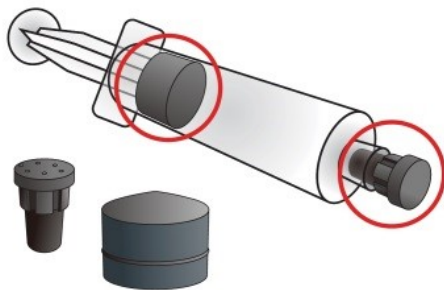
連結売上高目標 13億円(2014年3月期 11億円)

設備投資計画 6億円(2015年3月期～2017年3月期累計)

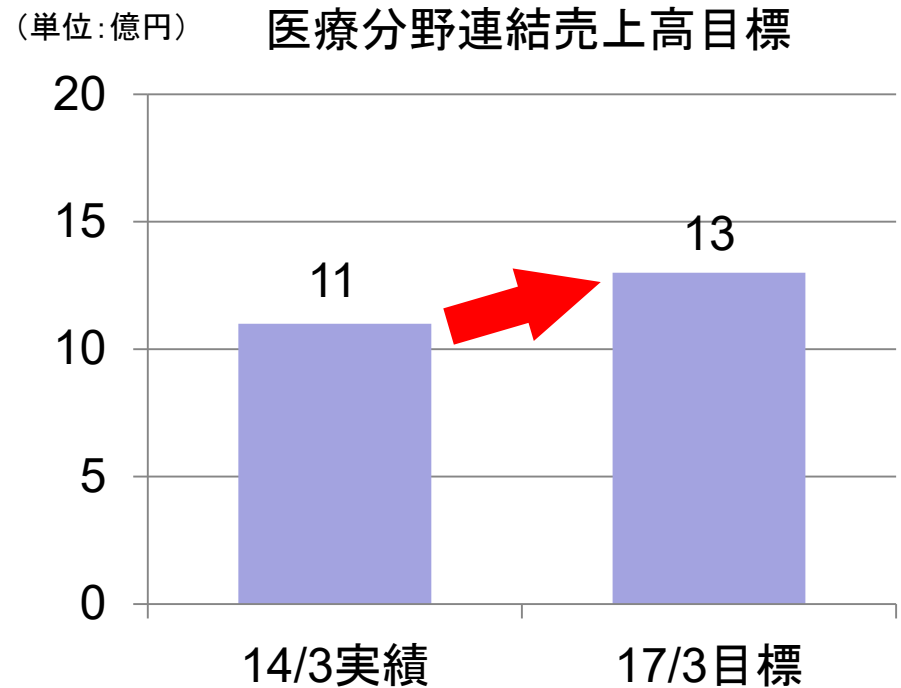
主な製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケット

- 安全性の高い材料を開発し、独自のコーティング技術で“漏れない”と“滑る”を両立し、注射速度の微妙な調節が可能。



プレフィルドシリンジ向けガスケットイメージ



- V－1計画では新製品の開発期間として要素技術の深掘りを進める。

Ⅲ－3. V－1計画事業戦略－ライフサイエンス分野

連結売上高目標 16.5億円(2014年3月期 4億円)

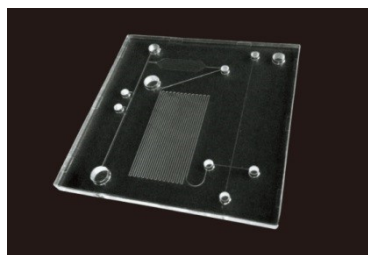
設備投資計画 8.5億円(2015年3月期～2017年3月期累計)

主な製品

マイクロ流体デバイス

- ゴムと金属、ゴムと樹脂を接着させる技術で独自の積層流路を形成し、複雑な分析に対応可能

- NEC向け以外の複数案件も進行中で、V－1計画内で量産スタート予定



マイクロ流体デバイスサンプル

卓球ラケット用ラバー

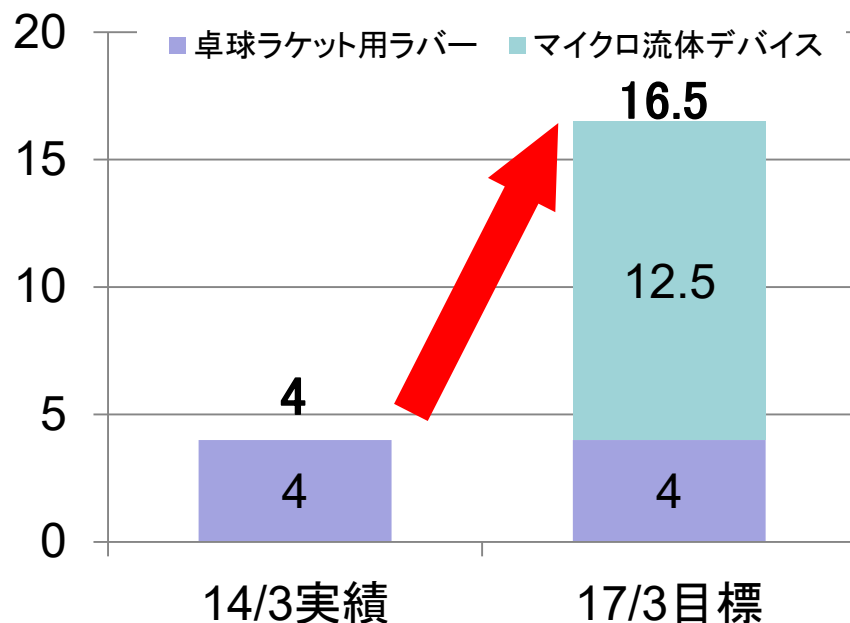
- 球を高速で弾く反発弾性、強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追求した世界最高品質のラバーを提供



卓球ラケット用ラバーイメージ

ライフサイエンス分野 連結売上高目標

(単位:億円)



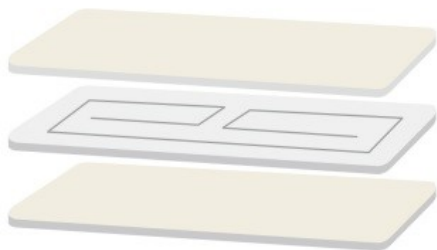
Ⅲ－3. V－1計画事業戦略－その他分野

連結売上高目標 13.5億円(2014年3月期 13億円)

主な製品

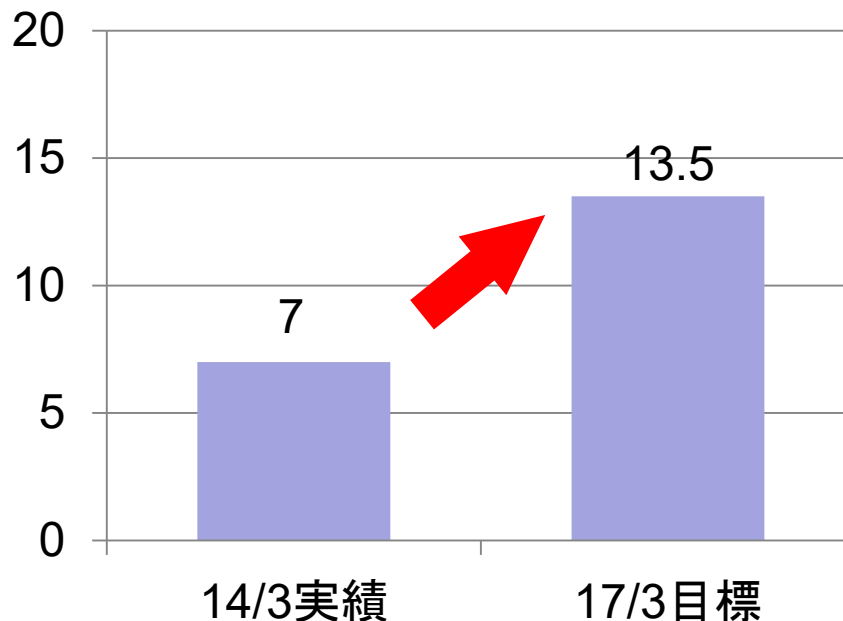
RFIDタグ用ゴム

- 溶剤を使わずに接着させる“分子接着技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグをご提供



RFIDタグ用ゴム製品イメージ

(単位:億円) その他分野連結売上高目標



- V－1計画でコア技術の深掘りと新しい製品、新しい分野に挑戦する。

Ⅲ－4. V－1計画事業戦略と設備投資計画

事業分野	連結売上高		設備投資計画	主な製品
	17年3月期 目標	14年3月期 実績		
自動車	37億円	34億円	10億円	ASA COLOR LED 接点ラバー、リング
医療	13億円	11億円	6億円	プレフィルドシリンジガスケット ニードルレス製品
ライフサイエンス	16.5億円	4億円	8.5億円	マイクロ流体デバイス 卓球ラケット用ラバー
その他	13.5億円	7億円	—	RFIDタグ用ゴム製品
合計	80億円	56億円	24.5億円	

(設備投資計画は2015年3月期～2017年3月期の三ヵ年累計金額)

Ⅲ－5. 海外展開



①日本:営業・開発・生産拠点 (株)朝日ラバー
開発拠点 (株)朝日FR研究所

②米国:営業拠点 ARI INTERNATIONAL CORP.

③中国東莞市:営業・開発・生産拠点 東莞朝日精密橡膠制品有限公司
中国上海市:営業拠点 朝日科技(上海)有限公司

④中国香港:営業拠点 朝日橡膠(香港)有限公司

●お客様の現地調達ニーズに応え、子会社間の連携を強化して受注獲得を目指す。

Ⅲ－6. 株主還元とコーポレート・ガバナンスの方針

株主還元方針

- 株主還元の基本は配当と業績拡大によるキャピタルゲインとします。
- 利益は次世代の開発に向けた内部留保と利益成長に応じた配当を行います。
- 利益成長の実績とタイムリーな情報公開を行うことでキャピタルゲインにつなげられるようにしていきます。

コーポレート・ガバナンス方針

- 変化の激しい時代に対応するため、スピード感のある経営体制を目指して若返りを図る一方、適切な監視体制により経営の安定化を図ります。
- 法整備の動向を見極めながら、当社の規模、役員・社員構成などを鑑みて体制づくりを行っていきます。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部企画グループ
TEL 048-650-6056